

# 藤本弁護士から 手記

さあまほ、総評弁護団から三十七人の調査団が来年、調査活動が進められたことばかり。お伝えしました。このほか、そのとき副団長として尽力なさった藤本正弁護士(三池大災害裁判担当)から、調査団を代表する形の手記を寄せていただきました。一つひとつが暖い連書のお言葉に、きっとほほえまされない人はいないでしょう。ともあれ全文をご紹介します。

申し上げ、おれにかえたいと思います。(写真は、いよいよに抗議集会)

せたのである。

第二回調査団は、化学班、いに若年の差のあることがどうか市職班、地区学班、三池労組班がわれ、まだ改善すべき点にわかつて調査に当たった。三がんくつがあるようだ。

池労組班は希望が集中したのだ。三池は「すばらしく」と手が残念ながら人數を制限したことがあつても、批判をうけたのが、残念なことが弱点である。

とまあ、他の班の調査も大きく成功した。「三池労組をはじめ大牟田の労働者は健在である」というのが、調査団の結論だった。

N.O.六七、負傷した西川常男さん(三十四歳、五十年五月入社)が排

明鉱の発破災害はその顕著なものである。

じんどの四山鉱の石炭の突出(山はね)という重大災害や、有明炭鉱合併・富浦炭開山といふもので、その頭著なものである。

三井鉱山の合理化改築は、三日もN.O.・五五、六〇、六五などに當所に放逐のための発破をかけ、占部さんと通尾さんの二人がカツターで切断操作していたカツ

もので、その具体的な攻撃が職場での「保安無視」「生産第一主義」となっている。

じんどの四山鉱の石炭の突出(山はね)といふ重大災害や、有明炭鉱合併・富浦炭開山といふもので、その頭著なものである。

三井、全員は三池労組の温いものなしと友情に感謝の言葉もなし。ただいえることは、四十名の若い弁護士が全國に散り、全国の労働者に「三池に学べ」とひびき続けるであろう。

三池労組に対して、じつまでも反省をもつて接するであろうこと、である。それが、われわれの闘う仲間への返礼である。

佐伯弁護士も私も、弁護団の立場に立って深くお礼を申しあげた。同時に私たち(調査団)は、参加した角銅、本多、小島弁護士の三池大災害裁判弁護団をふくめ(前省略)田高ショックといふことによっては、われわれに参加した団員は本当に心をうたれ、「いま、こうした闘いの集団があることに感動した」とたゞに私に感想を述べた。

だが彼等は三池の闘いの映画をその夜みせられ、さらに続けて、三池労組の古賀前組合長より統一への闘いの話を聞いたとき、もはや感動のあまりにじうべき言葉もなかった。

田高は、さまざま思想、信条を有していた。ただ一点、日本に大きなものを学んだ。とにかく、その精神を学んだとして、これが最も感動した。一致していた。三池の闘い。調査団はそう、日々述べては、いま思想をこめて全国を感動せしめ、新たな決意を誓つた。三池労組と親しいが故に若く、千の苦言を述べれば、指導部間

## 感動した三池の友情 われわれも闘いを誓う

# 今こそ反合闘争を見抜き

四山指導部 宮崎勝

勢いが、ついにじんどの大災害を、との労働者の犠牲を土台にで廢止する——など。炭労との協定がこれでつぶれたことになり、それを逃すわけにはいかない。闘いを、職場から離めなければ、ゆく先に不安がいくそろ大きくなれる。そこそこまた、統一ばかりで、企業の安定そのものがあふれる恐れがある。

右はわが国の石炭政策が、国民が、命まで売った覚えは絶対にない。「資本の自由にはならぬ」が、命まで売った覚えは絶対にない。

闘争を前進させるための力が、あります。それと並んで、労働力こそ売る労働力ではないが、労働力はない。そこにこそまた、統一の課題を明らかにすることも意味するもので、

石炭政策の見直しがいいそろくして、そのタラ新鉱と清水沢鉱を合併して、真谷地、幌内鉱とともに、別会社に分離独立させ、北炭本体を含む四社に分割する。清水沢鉱に反対することは、炭労全体としての闘いを組むひととともに当然である。

十四年度末に閉山するほか、化成社は東京で、N.O.・六七、負傷した西川常男さん(三十四歳、五十年五月入社)が排明鉱の発破災害はその頭著なものである。

じんどの四山鉱の石炭の突出(山はね)といふ重大災害や、有明炭鉱合併・富浦炭開山といふもので、その頭著なものである。

三井、全員は三池労組の温いものなしと友情に感謝の言葉もなし。ただいえることは、四十名の若い弁護士が全國に散り、全国の労働者に「三池に学べ」とひびき続けるであろう。

三池労組に対して、じつまでも反省をもつて接するであろうこと、である。それが、われわれの闘う仲間への返礼である。

佐伯弁護士も私も、弁護団の立場に立って深くお礼を申しあげた。同時に私たち(調査団)は、参加した角銅、本多、小島弁護士の三池大災害裁判弁護団をふくめ(前省略)田高ショックといふことによっては、われわれに参加した団員は本当に心をうたれ、「いま、こうした闘いの集団があることに感動した」とたゞに私に感想を述べた。

だが彼等は三池の闘いの映画をその夜みせられ、さらに続けて、三池労組の古賀前組合長より統一への闘いの話を聞いたとき、もはや感動のあまりにじうべき言葉もなかった。

田高は、さまざま思想、信条を有していた。ただ一点、日本に大きなものを学んだ。とにかく、その精神を学んだとして、これが最も感動した。一致していた。三池の闘い。調査団はそう、日々述べては、いま思想をこめて全国を感動せしめ、新たな決意を誓つた。三池労組と親しいが故に若く、千の苦言を述べれば、指導部間

## 北炭が合理化再提案 闘争、反対して方針

萩原亘太郎会長

工業所(コードレス工場)を本年度

にこそ、いかに保安を無視してい

ること、いかに安全を無視してい

ること、いかに労働を無視してい

ること、いかに労働を無視してい</